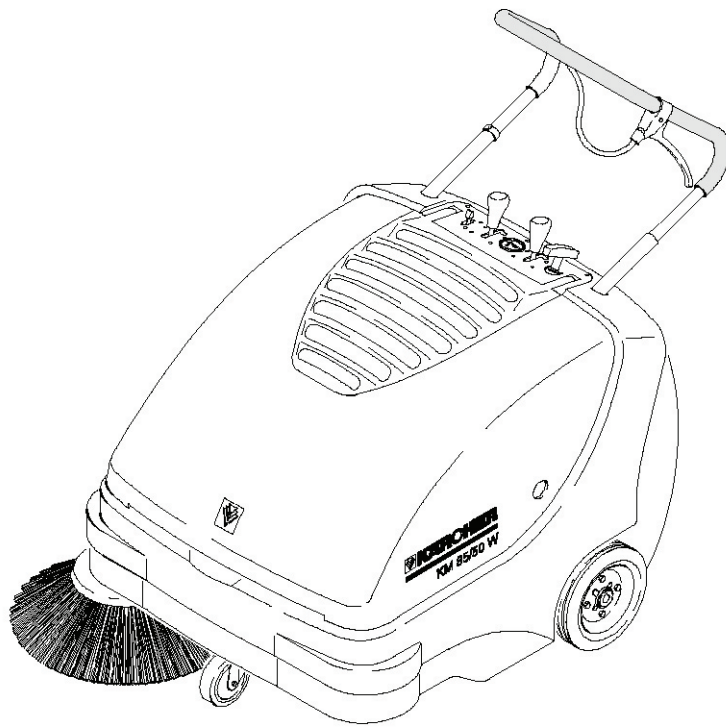


KÄRCHER

ケルヒャー業務用スィーパー 取扱説明書 KM 85/50 W G



この度はケルヒャー商品をお買いあげいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

KM 85 / 50 W G 201811

◆もくじ

• 使用上のご注意	3～6
• 仕様	7
• 本機の構造と各部名称	8
• 使用前のご注意	9
• 使用方法	10～14
• 作業注意点	14
• 使用しない場合	16
• 移動する時	15
• 清掃とお手入れ	15
• メンテナンス	16～28
• トラブル対応	29～30
• お手入れおよび保管方法	31
• お問い合わせ先	32
• ユーザー登録・保証	33
• 修理	34
• 補修部品	35～36

使用上のご注意

◎ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



注意

清掃は自己責任において行なうこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損などが生じた場合もしくは正しく操作をせずにケガ等を負った場合、当社では一切の責任を負いません。

ご使用時の警告



子供には触らせないこと
重大事故が生じる場合があります非常に危険です。

改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもとになることがあります。

修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと
個人の修理は事故のもとになるおそれがあります。

飲酒時には絶対に運転しないこと
屋内で使用しないこと
一酸化炭素中毒を生じる場合があります非常に危険です。

危険物や火気のある場所で使用しないこと
火災の原因となります。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

燃料の補給に注意すること
燃料がこぼれ、引火する恐れがあります。
周囲に燃料がこぼれている場合は、場所を移動し安全な場所で作業を行ってください。

燃料を切らさないこと
エンジン燃料ポンプが空気を吸い込み起動できなくなります。

エンジンには無鉛ガソリンを使用すること
異種燃料を使用した場合、エンジンが壊れます。

本体、電源プラグに水をかけないこと
感電する場合があります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する場合があります。



ご使用時の警告



燃料補給時はエンジン停止すること
引火爆発の原因となります。

接続ケーブルは確実に取り付けること
ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。

操作パネルに水をかけないこと
スイッチが損傷する原因となります。



作業に関する注意



車両の周りの安全確認を行うこと
車両付近に他の人や、動物、障害物がないかを確認してください。

作業時はアクセルを高速いすること
低速では作業性が低下します。

急激なハンドル操作を行わないこと
転落の危険があります。

傾斜地は低速で移動すること
ブレーキの利きが低下する場合があります。

50 mm以上の段差を超えないこと
走行系統を損傷する場合があります。

ひも状のゴミは事前に取り除くこと
ブラシを損傷する場合があります。

高圧洗浄は行わないこと
稼動部が損傷する場合があります。

エンジン運転中は絶対に本体を水洗いしないこと
エンジンが損傷する恐れがあります。

メンテナンスの際は防塵マスクを装着すること
ダストフィルターの交換・ブラシの交換の際は粉塵対策を行ってください。

ダストフィルターは水洗い禁止
フィルターが壊れます。

1 か月以上使用しない場合は燃料を抜くこと
約1か月でガソリンは変質します。

エンジンオイルは定期的に交換すること
初回 20 時間後、以後 100 時間毎に交換してください。

エンジン点火プラグ・エアフィルターは定期的に交換すること
100 時間毎に交換してください。



雨天時は使用しないこと
電装系統に悪影響が生じます。

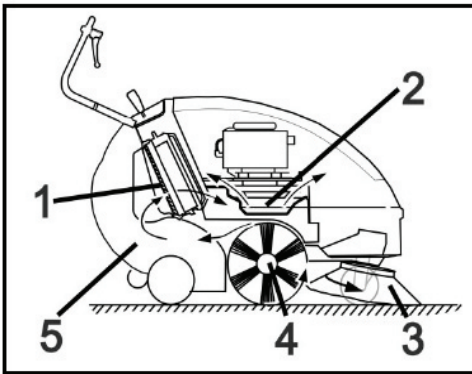
使用しない場合はシートで覆うこと
電装・エンジン・油圧系統に悪影響が生じます。

劣化ガソリンは使用しないこと
エンジンを損傷します。

仕様

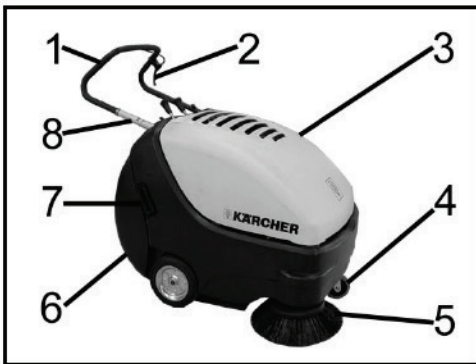
KM 85/50 W G	
動力	ガソリンエンジン
搭載エンジン	Honda 1Cyl, 4 ストローク
回転速度	2500 ± 100 r p m
プラグ NGK	B P R 6 E S
ガソリントank	1.1 L
消費量	約 1.5H *路面により異なります。
エンジンオイル	0.55 L (SAE10W30)
清掃幅 サイドブラシ使用	850 m ²
メインブラシ直径	250 mm
メインブラシ回転数	550rpm
サイドブラシ直径	410 mm
ゴミコンテナ	50L
長さ×幅×高さ	1355X910 × 1155mm
本体質量	126kg
作業可能温度	-5 ~ 40℃
作業可能湿度	0 ~ 90%
騒音値	75 dB (A)

本機の構造と各部名称

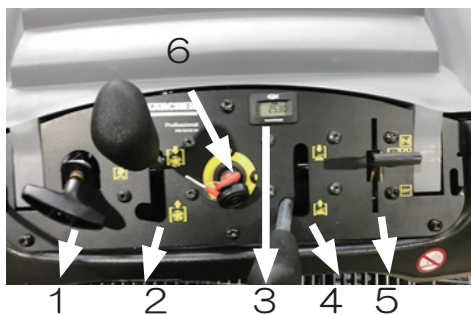


サイドブラシ (3) で角や端の掃除をし、掃き取ったゴミはメインブラシ (4) を伝い、ダストコンテナ (5) に運ばれます。

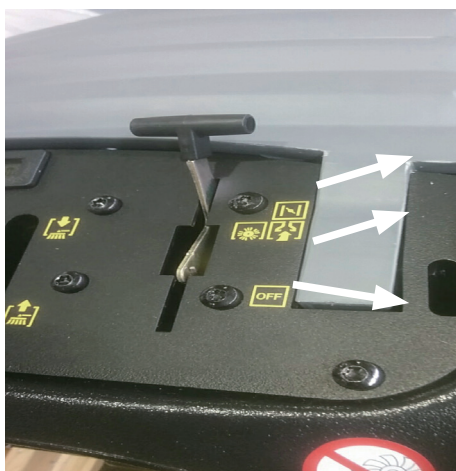
ダストコンテナに溜まった埃はダストフィルター (1) を通り、きれいになった空気は吸引タービン (2) により吸引されます。



1. プッシュハンドル
2. フラップレバー
3. 本体カバー
4. ブレーキ機能付きキャスター
5. サイドブラシ
6. ダストコンテナ
7. ダストフィルターハンドル
8. ハンドルロック



1. リコイルスターターロープ
2. メインブラシ昇降レバー
3. 作業時間メーター (エンジン回転数メーター)
4. サイドブラシ昇降レバー
5. マルチ機能レバー
6. キー



- マルチ機能レバー
1. チョーク
 2. HARE 設定 - 作業スピード
 3. エンジンOFF

注意：
仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。

使用前のご注意

一般的なご注意

本体は平らな平面に置いてください。

本機から離れる際には必ずキースイッチを切り、キャストブレーキをかけてください。

始業前点検と日常のメンテナンス

- エンジンオイルの量を点検してください。
- キャスターブレーキがかかるか点検してください。
- ダストコンテナを空にしてください。
- 燃料を補充してください。
- メインブラシ、サイドブラシを点検してください。



メンテナンス作業を参照してください。

点検中に見つかった問題点は直ちに解決するか本機を使用しないでください。

使用方法

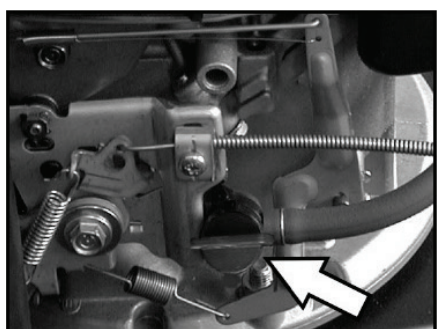
機械の始動



キャストブレーキを解除してください。



カバーを開けてください。



燃料供給ラインのつまみがホースと水平になるように回転させてください。
本体カバーを閉じてください。



ハンドルロックを時計回りに回し、固定させてください。
注：本体は手動で動きます。



マルチ機能レバーを”作業スピード”の位置にしてください。
キーをONにします。
雨の日や、寒い日
レバーを”CHOKE”の位置に合わせます。



リコイルスターターを強く引いてください。

エンジンが始動したら、マルチ機能レバーを
“CHOKE” から“作業スピード”の位置にします。



サイドブラシ（1）を下げます。
レバーロックを解除してください。

メインブラシ（2）を下げます。
レバーロックを下げてください。

2

1



ハンドルロックを反時計回りに回転させ、
ロックを解除してください。

ハンドルを前に押すと前進します。

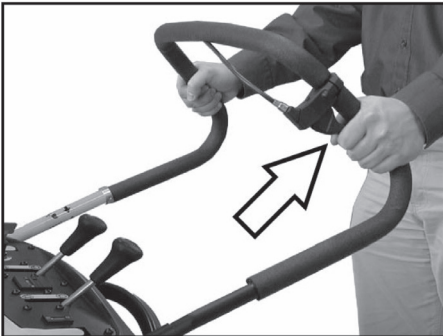
ハンドルを手前に引くと後退します。

安全上のご注意

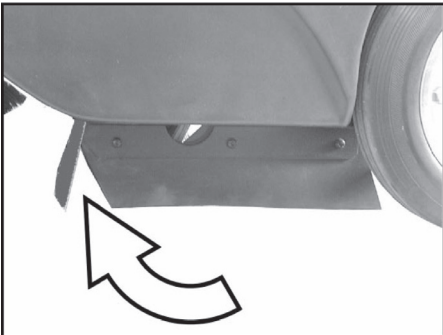
梱包用テープ、針金あるいは類似のものは掃き取らないでください。

タービンを損傷する場合があります。

5センチ位の大きさの物は掃き取れますが、それ以上の大きさのものはコンテナに直接入れてください。



大きなゴミを掃き取る際にはフラップレバーを握ってください。

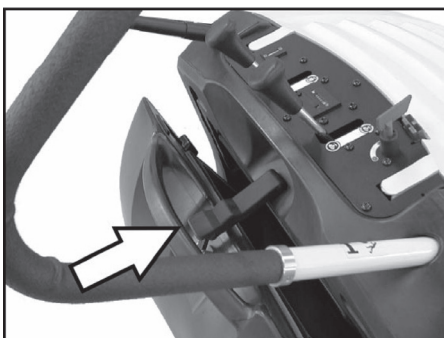


- ハンドルレバーを離すとフラップが閉じます。通常は離した状態でご使用ください。フラップが常時開いた状態では、ゴミを取ることが出来ません。



ゴミ用フラップを下げる際には、フラップレバーを放してください。

注：通常使用時は、フラップを閉じた状態でご使用ください。

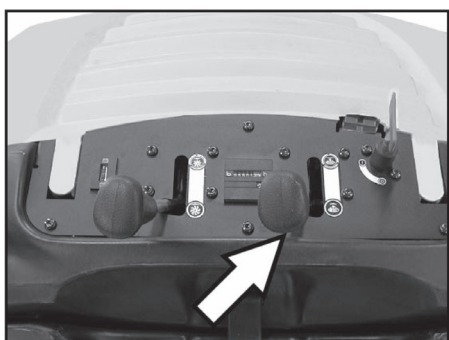


ぬれた路面を掃除する場合にはダストコンテナ固定フックを解除してください。隙間ができ、フィルターがぬれるのを防止します。

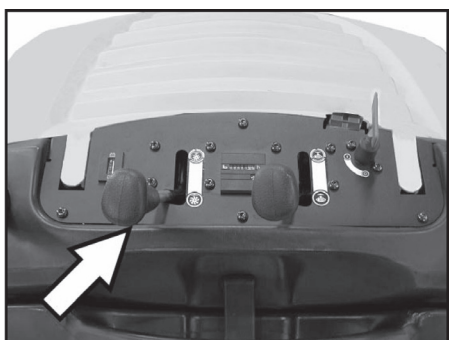
本機の停止方法



マルチ機能レバーを“OFF”の位置にしてください。



サイドブラシを上を上げてください。



メインブラシを上げてください。

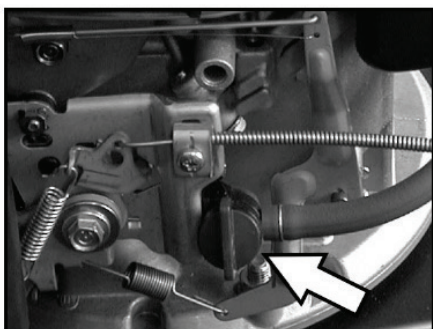


注意

サイドブラシ、及びメインブラシを使用しない場合には必ずブラシを上げてください。

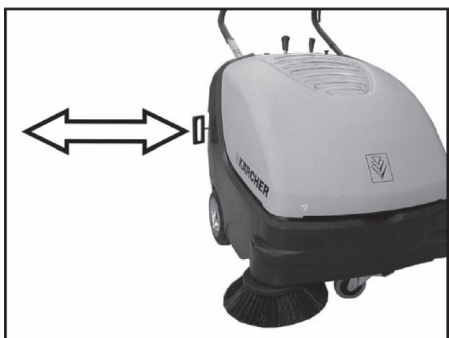


キャストブレーキをロックしてください。



燃料ホース横の燃料開閉バルブを閉じてください。

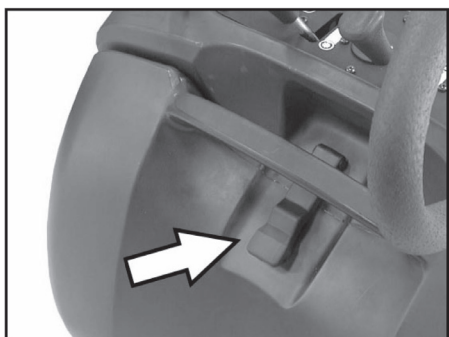
ダストフィルターのちりを落とす



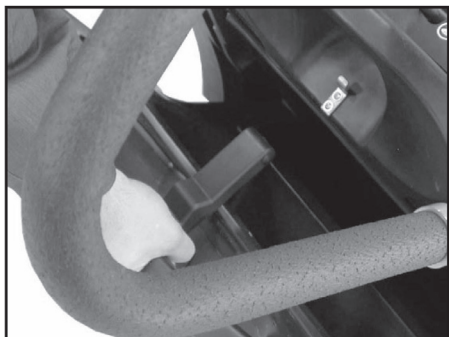
キースイッチを切り、ちり落とし用のハンドルを数回引いてください。
1 時間に一回必ず行ってください。

フィルター清掃の作業をする際には埃が出る為、ダストコンテナがきちんと本体内にセットされている事を確認ください。

ダストコンテナを空にする



フィルターの埃を取った後、ダストコンテナを開け上に持ち上げてクリップを外してください。



固定フックを外してください。



ダストコンテナを開けてください。
ダストコンテナを空にしてください。
ダストコンテナを元の位置に戻してください。
固定フックを締めてください。

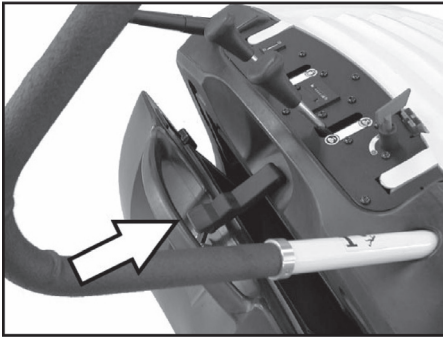
(移動用キャスターが装着されてます)

作業注意点

乾いた床を清掃する場合

定期的に埃をフィルターから除去し、ダストコンテナを空にしてください。
ゴミの種類や清掃面に応じて、作業スピードを調節してください。

湿ったゴミを清掃する場合



固定フックを開けてください。

5.3 障害物の上を走行する場合

30 mmまでの高さの障害物

前進しながらゆっくりと走行してください。

30 mm以上の高さの障害物

障害物の上を走行しないようにしてください。

メンテナンス

一定期間本機を使用しない時は次の内容に注意してください。

本機は湿気の少ない場所で保管してください。

本機を水平なところに保管してください。

キャストブレーキをかけてください。

本機が転がらないように固定してください。

ハンドルを固定してください。

メインブラシとサイドブラシを保護する為に上げてください。

本機の内部および外部を清掃してください。

燃料タンクを空にしてください。

点火プラグのコネクターを外し、プラグを外してください。

約3cm³のエンジンオイルを点火プラグ用の穴に入れ、エンジンを点火プラグ無しで手動で2～3回駆動させてください。

点火プラグを接続してください。

移動

本機は必ず動かないように固定してください。

- キャストブレーキをかけてください。
- 本機をベルト、ロープあるいはチェーンで止め輪に固定してください。
- タイヤに輪止めをかけてください。
- ハンドルをロックしてください。



固定する際の固定位置

1. ハンドル部
2. 本体カバーの下部

清掃とお手入れ

本機を平面においてください。

スイッチを切ってください。

キャストブレーキをかけてください。

内部の清掃

マスクやゴーグルをして作業をしてください。

外部の清掃

強い洗剤を使用しないでください。

使用時間メーター

メンテナンスの時期については
作動時間計を参考にして下さい。



お客様のメンテナンス方法

購入後一ヶ月後、或いは5時間作業後に、エンジンオイルの交換をしてください。

毎日のメンテナンス

ダストフィルターの点検を行なってください

エンジンオイルの量を点検してください。

作業制御装置が作動しているか点検してください。

サイドブラシとメインブラシ部について磨耗やひも等の絡みつぎがないか点検してください。

エアフィルターを点検してください。

25 時間毎のメンテナンス

エアフィルターを清掃してください。

50 時間毎のメンテナンス

エンジンオイルの交換をしてください。

エアフィルターがひどくよごれている場合交換してください。

点火プラグを点検して下さい。 必要があれば交換してください。

安全スイッチを点検してください。

ワイヤーケーブルと可動部品が可動可能か点検してください。

シール部分に磨耗がないか点検してください。

フィルターのちり落としが機能しているか点検してください。

メインブラシとサイドブラシの清掃跡を確認してください。

表示ランプやその他のスイッチなどが作動しているか点検してください。



注意

メンテナンスや修理は熟練した技術者が行なってください。
必要に応じケルヒャーのサービスエンジニアに御相談ください。

安全上のご注意

本機を平面に置いてください。

キャスターブレーキをかけてください。

ハンドルをロックしてください。



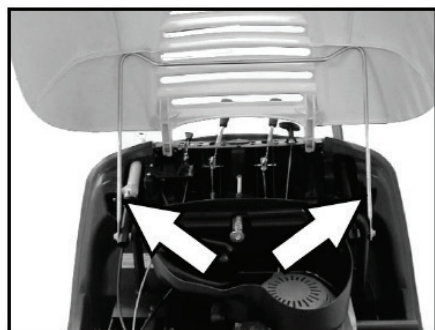
注意 やけどに注意
エンジンが停止した後でもエンジンやその付近の部品が熱くなっている場合があります。高温付近には手を触れないでください。

安全スイッチ



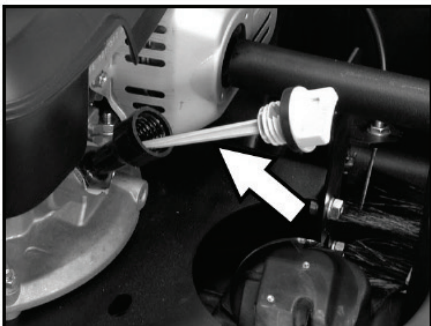
本体カバーを開けてください。

本体カバーを開けるとエンジンが停止します。
もし停止しない場合、点検を依頼してください。

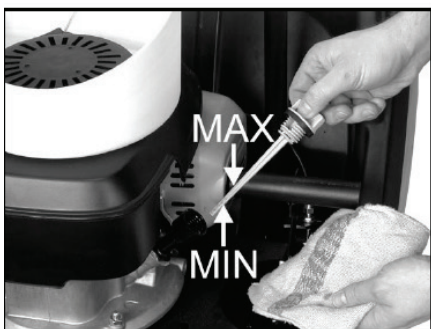


本体の内部の作業を行う際には本体カバーサポートを立てて本体カバーを支えてください。

オイルレベルの点検

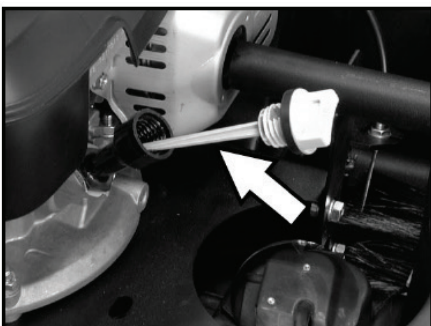


オイルレベルゲージを引き抜いてください。

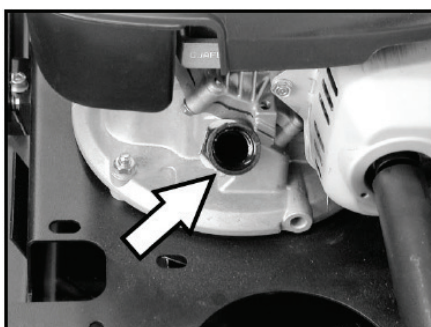


オイルを布で一度拭取り、再度差し込んでから引抜いてください。
オイルは MIN と MAX の間に来るようにしてください。
オイルレベルが MIN より下の場合には、オイルを補充してください。
オイルレベルが MAX を超えないようにしてください。

オイルの補充

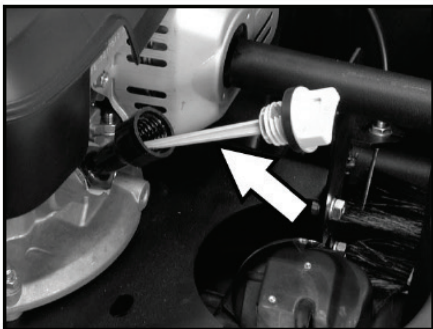


オイルレベルゲージを引き抜いてください。



オイルを補充し、約5秒待ってから再度オイルレベルをチェックしてください。

エンジンオイルの交換



オイルレベルゲージを引き抜いてください。

オイル交換

エンジンオイルの交換目安は

初回 ⇒ 20 作業時間後

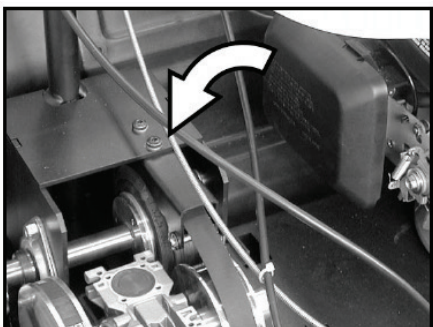
事後 ⇒ 100 作業時間ごと



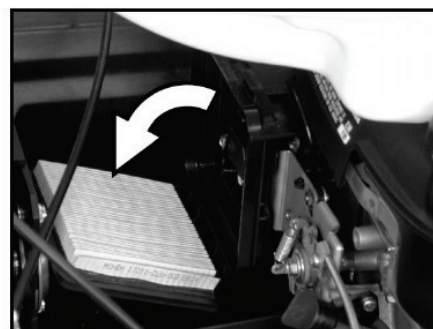
オイル交換用のポンプを使用して古い燃料を吸取り、新しいオイルを補充してください。

新しいオイルを入れた後約5分置き、オイルレベルを確認してください。

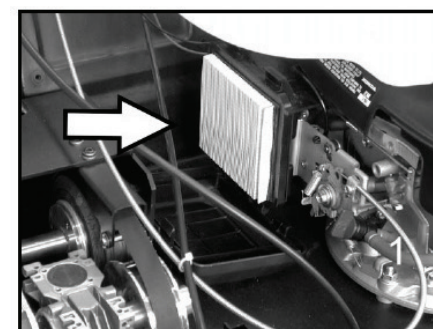
エアフィルターの点検



本体カバーを取り外してください。



エアフィルターカートリッジを取り出してください。



新しいエアフィルターカートリッジを取り付けてください。

本体カバーを取り付けてください。

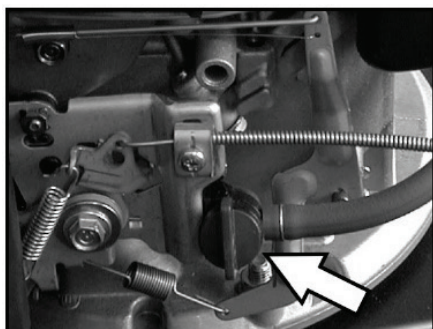
点火プラグの清掃と交換



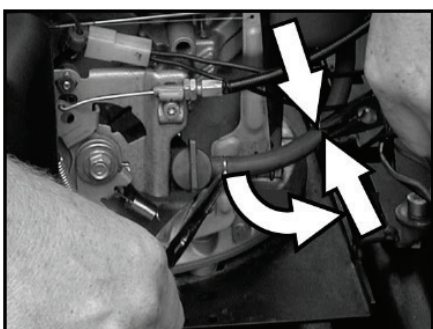
本体カバーを開け、点火プラグのコネクターを取り外してください。

点火プラグを緩め取り外し、掃除してください。
必要があれば新しい点火プラグを取り付け、コネクターを留めてください。

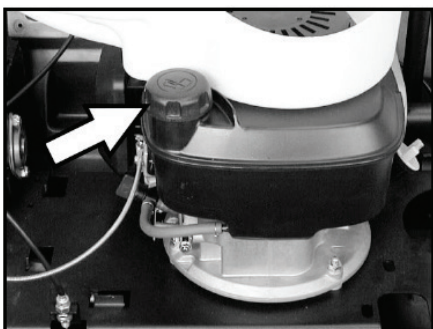
燃料タンクを空にする



燃料開閉バルブを閉じてください。
燃料ホース横の燃料開閉バルブを回転させます。



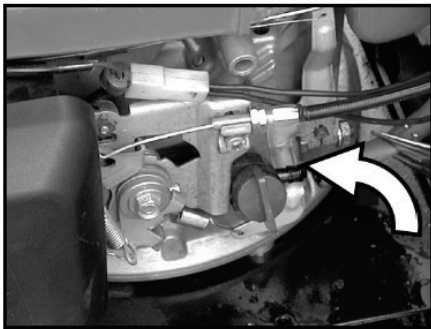
燃料ホースの位置を燃料タンクから燃料開閉バルブの方にずらしてください。
燃料開閉バルブのクランプを外してください。
燃料ホースを取り外してください。



燃料タンクのキャップを開けてください。



燃料ホースを受け皿に入れ燃料を抜いてください。



燃料タンクが空になったら、取り外した燃料ホースを燃料開閉バルブに取付け、クランプも取付けてください。

メインブラシの点検



キャストブレーキをかけてください。
ダストコンテナを取り外してください。
ブラシに絡まったテープや紐等を取り除いてください。
ダストコンテナを取り付けてください。



注意

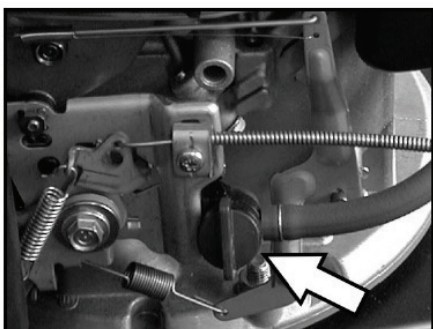
紐は絶対に巻き込まないようにしてください。

メインブラシの交換、取り付け

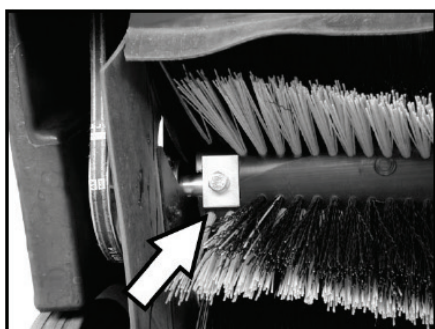


注意

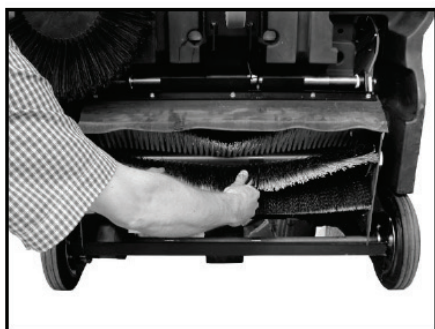
ブラシの磨耗により掃能力が低下している際には、メインブラシを交換する必要があります。作業を始める前に燃料開閉バルブを閉じてください。



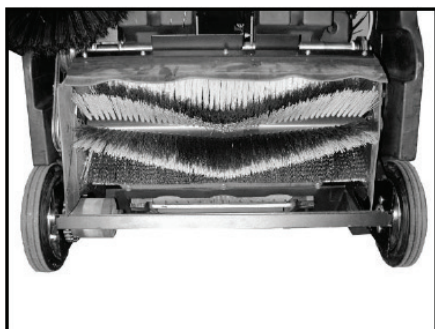
燃料開閉バルブを閉じてください。
燃料ホースの横の燃料開閉バルブを回転させます。



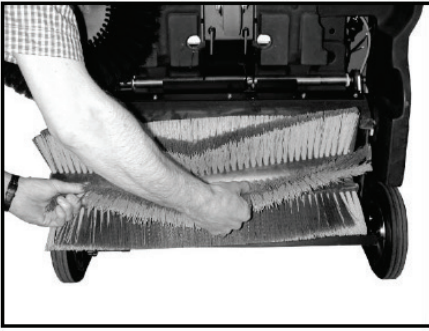
左右にある留めネジを外してください。



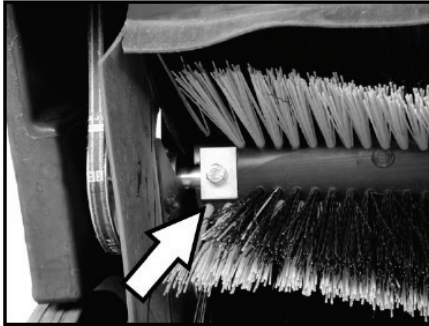
メインブラシを後方に引きながら取外してください。



取付け位置に気を付けながら、新しいメインブラシを取付けてください。



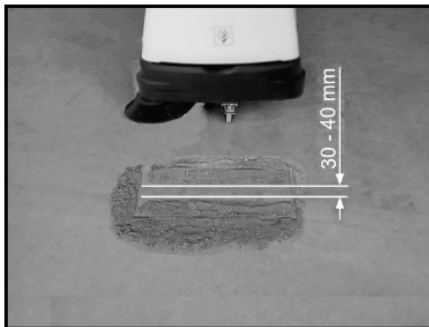
メインブラシを挿入してください。



ブラシを挿入した際に四角い留め板がメインブラシに重なるように、位置を確認してください。

ダストコンテナを元に戻してください。

メインブラシ清掃幅の確認

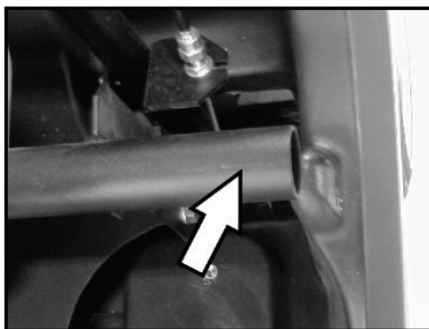


作業幅を確認するため均一に砂をまいてください。本機の前方を持ち上げた状態で砂をまいた所まで移動させてください。

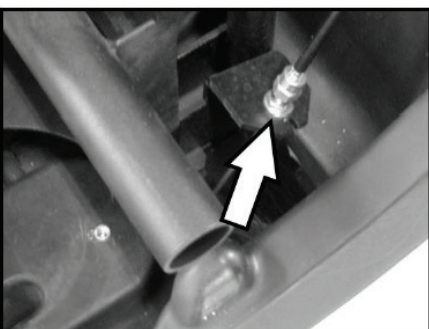
キャストブレーキをかけてください。

メインブラシを 15-30 秒動かしてください。

本機の前方を再度持ち上げ、横に動かしてください。

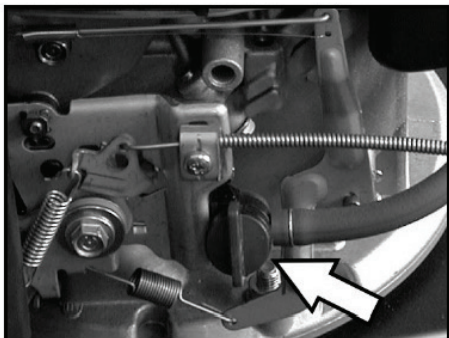


エンジンが停止した後も排気管やその付近の部品が熱くなっている場合があります。高温部位には手を触れないようにしてください。



ワイヤーケーブルで清掃幅を調節し、再度作業幅を確認してください。

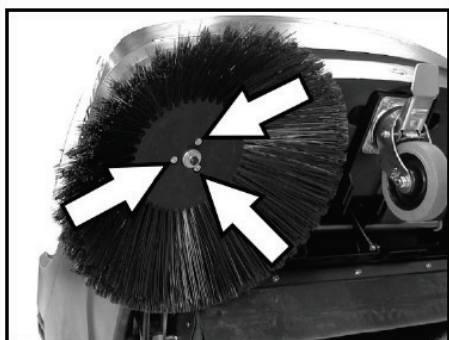
サイドブラシの交換、取り付け



ブラシが磨耗している場合にはブラシの交換が必要です。その場合にはバッテリーを外し、ハンドルロックを反時計回りに回転させ、ロックを解除してください。

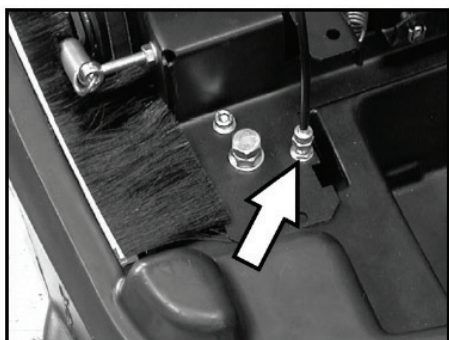
スィーパーを傾げる際にはバッテリーを外してください。

スィーパーを傾げる前にダストコンテナを取外し、ハンドルロックを解除してください。(ダストコンテナの空の仕方を参照)



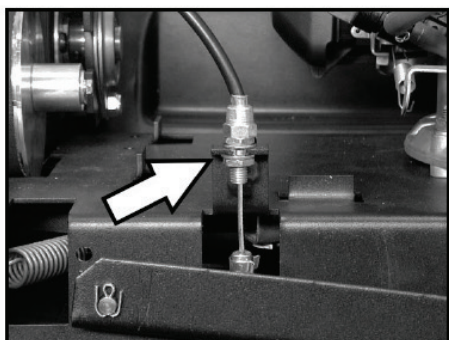
本体を傾けてください。
サイドブラシの下面にあるネジを取ってください。
サイドブラシを取外し、新しいサイドブラシをシャフトに差込み入れてください。
取り外したネジを留めてください。
本体を元の状態に戻してください。

サイドブラシの調節



固定ナットを緩め、止めネジを調節してください。
調節が終わったら、取り外した固定ナットを締めてください。

ゴミ用フラップの調節



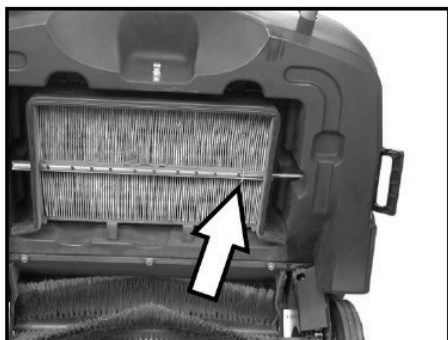
固定ナットを緩め、止めネジを調節してください。
調節が終わったら、取り外した固定ナットを締めてください。

ダストフィルターの交換

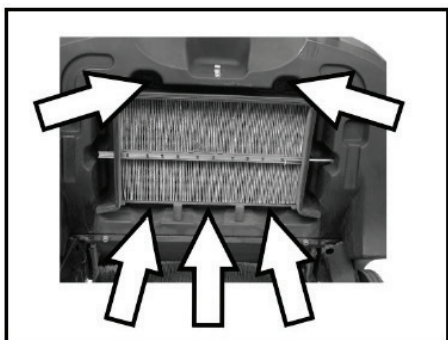


注意

ダストフィルターの交換作業の際には必ず防塵マスク等をつけて作業してください。



キャストブレーキをかけてください。
ちり落としの割りピンを外してください。
ちり落とし用の取っ手を引き抜いてください。



留めネジを外してください。



ダストフィルターを取り出してください。
新しいダストフィルターと交換してください。

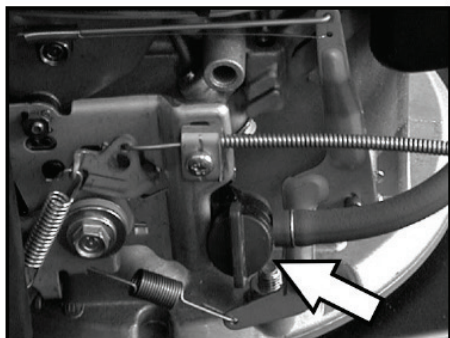


注意

新しいダストフィルターと取り付ける際にちり落としの爪部を壊さないようにしてください。

スクイージーの調節と交換

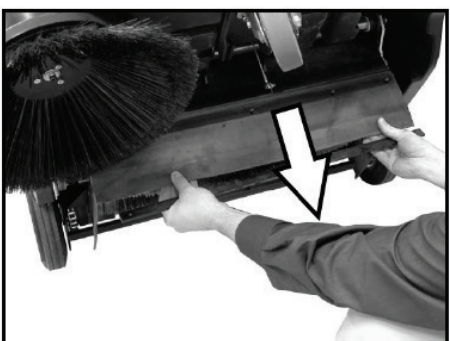
スイーパーを傾ける際には燃料タンクのカソリンは半分以下にしてください。
スイーパーを傾ける前にダストコンテナを取外し、ハンドルロックを解除してください。
(ダストコンテナの空の仕方を参照)



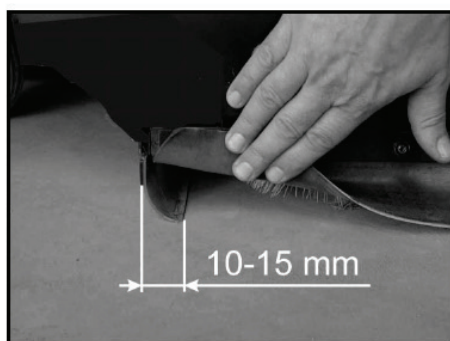
燃料開閉バルブを回転させ閉じてください。
ハンドルロックを反時計回りに回転させ、ロックを解除してください。



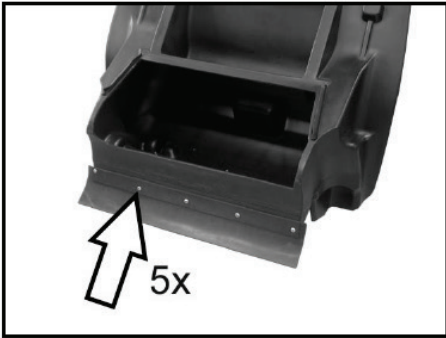
前方スクイージー
スクイージーの留めネジを締めてください。



スクイージーを下に下げながら位置を調節し、緩めたネジをしめてください。



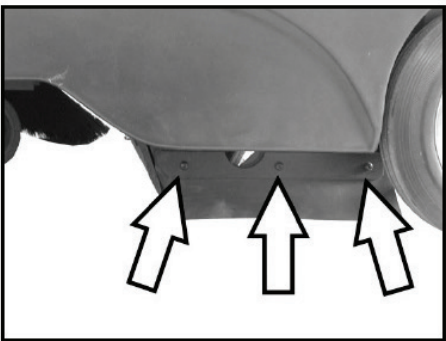
スクイージーの曲がり量が 10-15mm となるように高さを調節してください。
磨耗がひどい場合には交換してください。
本体を元通り立てた状態にした後、前方に少し押し、確認してください。



後方スクイージー

ダストコンテナを取り外し、コンテナ部についているネジを緩めてください。

スクイージーを交換し、ネジを締めてください。



側面スクイージー

スクイージーの留め具を緩めてください。

スクイージーを交換し、床面から約 1-2 mm の高さの位置にしてください。

緩めたネジを締めてください。

トラブル対応

エンジンが動かない



本体カバーを閉めていますか？

↓ → いいえ → カバーを降ろしてください。

はい



マルチ機能レバーを始動位置に合わせましたか？

↓ → いいえ → 始動位置に合わせてください。

はい



ヒューズが切れていませんか？

↓ → はい → ヒューズを交換してください。

いいえ



メンテナンスを依頼してください。

ブラシは回転しているが清掃できない

↓

ベルトに緩みがありませんか？

↓ → はい → テンションを上げてください。

いいえ

↓

ブラシが磨耗していませんか？

↓ → はい → ブラシを交換してください。

いいえ

↓

スカートが損傷、脱落していませんか？

↓ → はい → スカートを交換してください。

いいえ

↓

メンテナンスを依頼してください。

埃が舞い散る

↓

フィルターが詰まっていますか？

↓ → はい → チリ落としを一時間に一回行ってください。

いいえ

↓

フィルターに破れがありませんか？

↓ → はい → 交換してください。

いいえ

↓

吸引スイッチを入れましたか？

↓ → いいえ → 吸引スイッチを入れてください。

はい

↓

スカートが損傷、脱落していませんか？

↓ → はい → スカートを交換してください。

いいえ

↓

メンテナンスを依頼してください。

お手入れおよび保管方法

■お手入れ

フィルターは1時間毎にチリ落としを行なってください。

作業終了後は必ずチリ落としを行なってください。

本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き取ってください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、掃除用、殺虫用、整髪スプレー等をかけないでください。破損、変質、変色の原因 となります。

■保管

保管前に必ずお手入れをしてください。

必ず屋内のホコリのかからない場所に保管してください。

■メンテナンススケジュール

毎日 / 8時間毎

フィルターのチリ落とし

エンジンオイルの量

1週毎 / 25時間毎

ブラシカートの状態 キズ, 脱落, 割れの確認

エンジンオイルの交換

1ヶ月毎 / 40時間毎

フィルターの状態

メインブラシ, サイドブラシの状態

エンジンオイルの交換

半年毎 / 100時間毎

Vベルトの状態, テンション

チェーンの状態, テンション

1年毎 / 500時間毎

フィルターの交換

お問い合わせ先

<サービスフロント>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL：0570-78-3140

FAX：045-438-1320

ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサービスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



＜ユーザー登録をいただいたお客さま限定＞
ご購入日から 1 年間の保証期間を
ご購入から 2 年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。ぜひご登録ください。

＜ユーザー登録方法＞

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N：xxxxxxの数字がシリアル番号です。

＜保証＞

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。

弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント

TEL：0570-78-3140

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。

尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

当社の個人情報保護の取り組みについては、ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトでご覧いただけます。

修理

修理はサービスフロントへお問い合わせください。

●修理機を搬送される場合

受け入れ準備が必要となりますので、事前に弊社サービスフロントへご連絡頂き調整後、指定場所へ搬送してください。

●出張修理もしくは出張見積もりの場合

※不具合状況をサービスフロントへ詳しくご説明ください。

出張修理の場合

作業工賃 4,000 円 /30 分 (※)

出張基本料金 3,500 円 (※)

拠点からの移動費 170 円 /Km (※) (最大 50Km : 最大 8,500 円 (※))

部品代が別途発生いたします。

出張見積もりの場合

見積もり作業費用が別途発生いたします。(※ お問い合わせください)

出張基本料金 3,500 円 (※)

拠点からの移動費 170 円 /Km (※) (最大 50Km : 最大 8,500 円 (※))

機械を分解し不良特定を行うためもとの状態には戻せません。

引き揚げの場合は実費(搬送車両費用・高速料金・燃油費等)をご請求いたします。

夜間・深夜作業は追加料金が生じます。

(※) : 2018 年時点の料金です。

修理工賃・出張基本料金・移動料金・見積もり料金等に変更される場合がございます。
サービスフロントへ事前にお問い合わせください。

補修部品

